

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道9号 仁摩・温泉津道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県大田市仁摩町大國 至：島根県大田市温泉津町今浦	延長	11.8km		
事業概要 一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約750kmの主要幹線道路である。 仁摩・温泉津道路は、一般国道9号の交通隘路区間の回避及び交通安全の確保等を目的に計画された島根県大田市仁摩町大國から大田市温泉津町今浦に至る延長11.8kmの自動車専用道路である。					
H16年度事業化		H15年度都市計画決定		H16年度用地着手	
全体事業費		約524億円		事業進捗率 48%	
		(H21年度末現在)		供用済延長 0.0km	
計画交通量		15,300～15,700台/日			
費用対効果 分析結果 (3便益)	B/C (3便益) (事業全体) 1.7 (残事業) 4.3	総費用 (事業費)/(事業全体) 213/530億円 (事業費) 190/507億円 (維持管理費) 23/23億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 908/908億円 (走行時間短縮便益) 693/693億円 (走行経費減少便益) 159/159億円 (交通事故減少便益) 56/56億円	基準年 平成22年	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.9 (交通量+10%) B/C=3.7 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.9 (事業費+10%) B/C=4.7 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=4.1 (事業期間+20%) B/C=4.4 (事業期間-20%)					
事業の効果等 - 円滑なモビリティの確保 (事業区間の損失時間の削減が見込まれる) 【15,228千人時間/年→14,832千人時間/年 3%削減】 - 円滑なモビリティの確保 (石見交通 (大田江津線)：1日10便の路線バスの利便性向上が見込まれる) - 円滑なモビリティの確保 (特急停車駅である大田市駅のアクセス向上が見込まれる) 【27分→24分】 - 円滑なモビリティの確保 (周辺ネットワークとの一体的な整備により江津市から出雲空港へのアクセス向上が見込まれる) 【110分→80分】 - 物流効率化の支援 (周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市から浜田港へのアクセス向上が見込まれる) 【80分→65分】 - 物流効率化の支援 (国際標準コンテナ通行支障トンネル7箇所 (馬路、神畑、大野、湯里、清水、小浜、温泉津の各トンネル)の解消) - 国土・地域ネットワークの構築 (周辺ネットワークとの一体的な整備により二次生活圏中心都市大田市～浜田市間の所要時間短縮が見込まれる) 【70分→55分】 - 国土・地域ネットワークの構築 (周辺ネットワークとの一体的な整備により大田市温泉津町から日常活動圏中心都市大田市への所要時間短縮が見込まれる) 【30分→25分】 - 個性ある地域の形成 (周辺ネットワークとの一体的な整備により石見銀山へのアクセス向上が見込まれる) 【年間観光客入り込み客数：石見銀山56万人 (H21)】 - 安全で安心できるくらしの確保 (周辺ネットワークとの一体的な整備により江津市から三次救急医療機関県立中央病院までの所要時間短縮が見込まれる) 【85分→65分】 - 安全な生活環境の確保 (死傷事故率549.6件/億台kmの仁万交差点の事故件数の減少が見込まれる) - 災害への備え (島根県緊急輸送道路ネットワーク計画 (H9年3月策定)において第1次緊急輸送道路に位置づけられている) - 災害への備え (緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合、大田市仁摩町～大田市温泉津町間の代替路を形成する) - 災害への備え (要防災対策箇所18箇所の回避) - 地球環境の保全 (CO2排出量が約13千t/年 (約1%)削減) 【1,311千t/年→1,298千t/年】 - 生活環境の改善・保全 (NOX排出量が約54t/年 (約1%)削減) 【5,185t/年→5,131t/年】 - 生活環境の改善・保全 (SPM排出量が約8t/年 (約2%)削減) 【444t/年→436t/年】 - 環境への影響を考慮した効果 (約13千t/年のCO2削減量の貨幣換算値) 【6.44億円※】 - 通行止めを考慮した効果 (国道9号通行止め時の現道の混雑解消効果) 【0.82億円※】 - 交通事故件数の削減 (交通事故件数が約2%削減) 【2,196件/年→2,154件/年】					
※は、供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値)					

関係する地方公共団体等の意見

大田市長など3市4町の首長で構成される出雲・江津間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から仁摩・温泉津道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：

一般国道9号仁摩・温泉津道路について、継続するとの対応方針（原案）については、異存ありません。

仁摩温泉津道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。

また、隣接する温泉津江津間についても、事業化の前提となる都市計画決定手続きの早期実施、新規事業着手について特段の配慮をお願いする。

その他の山陰道の各区分についても、未着手区分の早期事業着手、事業中区分の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道9号では、交通隘路区間で交通死亡事故が多発しており、また交通事故や災害による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末までに用地買収が94%完了しており、現在、工事を推進している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

事業効果の早期発現のため、暫定2車線での早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

新工法の導入や設計の工夫によるコスト縮減【約1億円】

当面、暫定2車線で整備

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

に ま ゆ の つ
一般国道9号 仁摩・温泉津道路
事業再評価

平成22年12月
国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約730kmの主要幹線道路である。
- 一般国道9号仁摩・温泉津道路は島根県大田市仁摩町大国から大田市温泉津町今浦に位置する延長11.8kmの道路である。



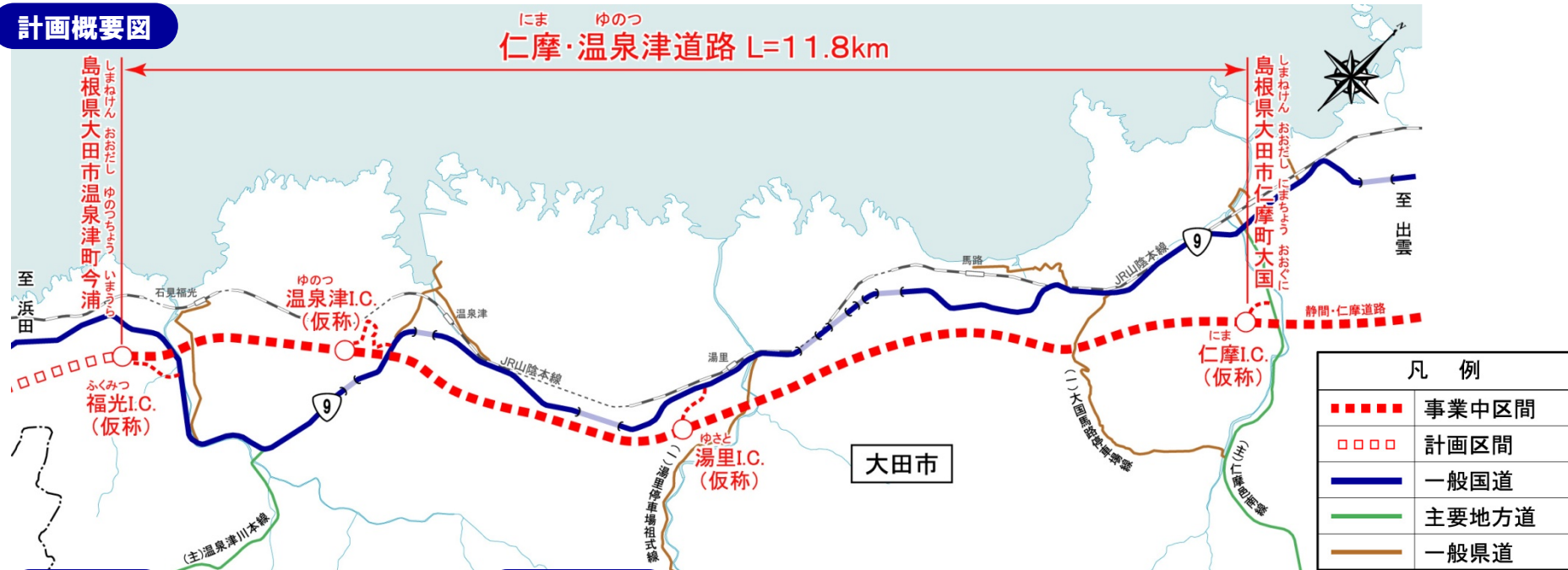
2. 事業概要及び進捗状況

事業概要

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 本道路は、緊急時の代替路線の確保、現道の隘路区間の解消、観光・医療・物流活動を支援するとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する自動車専用道路である。

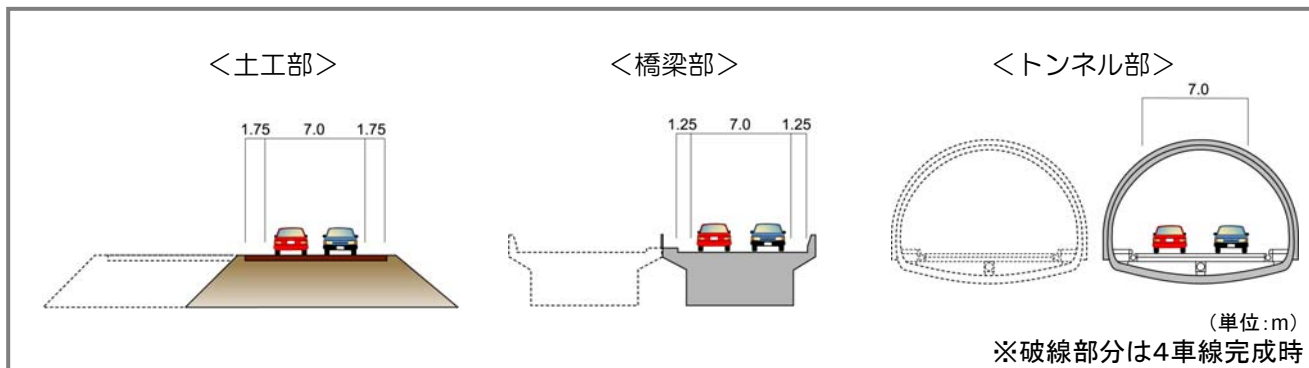
計画概要図



事業概要

起 点	しまねけん おおだし にまちょう おおくに 島根県大田市仁摩町大田
終 点	しまねけん おおだし ゆのつちょう いまうら 島根県大田市温泉津町今浦
延 長	11.8km
道路の規格	第1種第2級
設 計 速 度	100km/h
車 線 数	暫定2車線

標準断面図

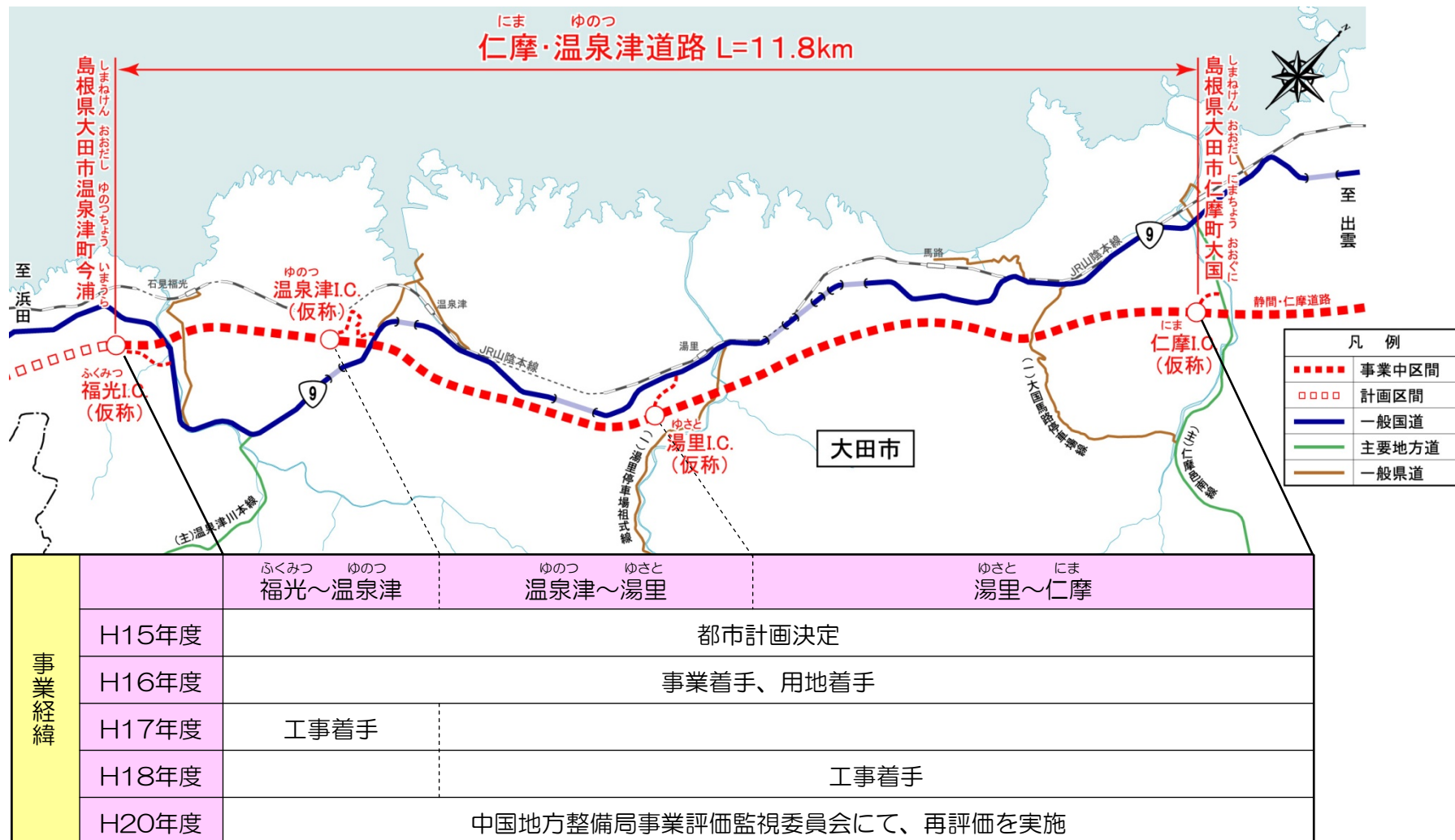


2. 事業概要及び進捗状況

事業経緯

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 平成15年度に都市計画決定され、平成16年度から順次事業着手している。



2. 事業概要及び進捗状況 進捗状況

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

●平成16年度より事業着手し、現在、事業全体では48%（用地で94%、本線工事で41%）が完了している。

●事業全体の進捗状況（平成21年度末時点）

用 地	94%
工 事	41%
全 体	48%

※暫定2車線の事業費に対する割合

写真③ 上部工施工状況（馬路第1高架橋）



写真② トンネル施工状況（天河内第1トンネル）



写真① 仁摩IC（仮称）付近



写真⑦ 地盤改良工施工状況（福光地区）



写真⑥ 小浜第3高架橋の上部工部分



写真⑤ 温泉津IC（仮称）付近

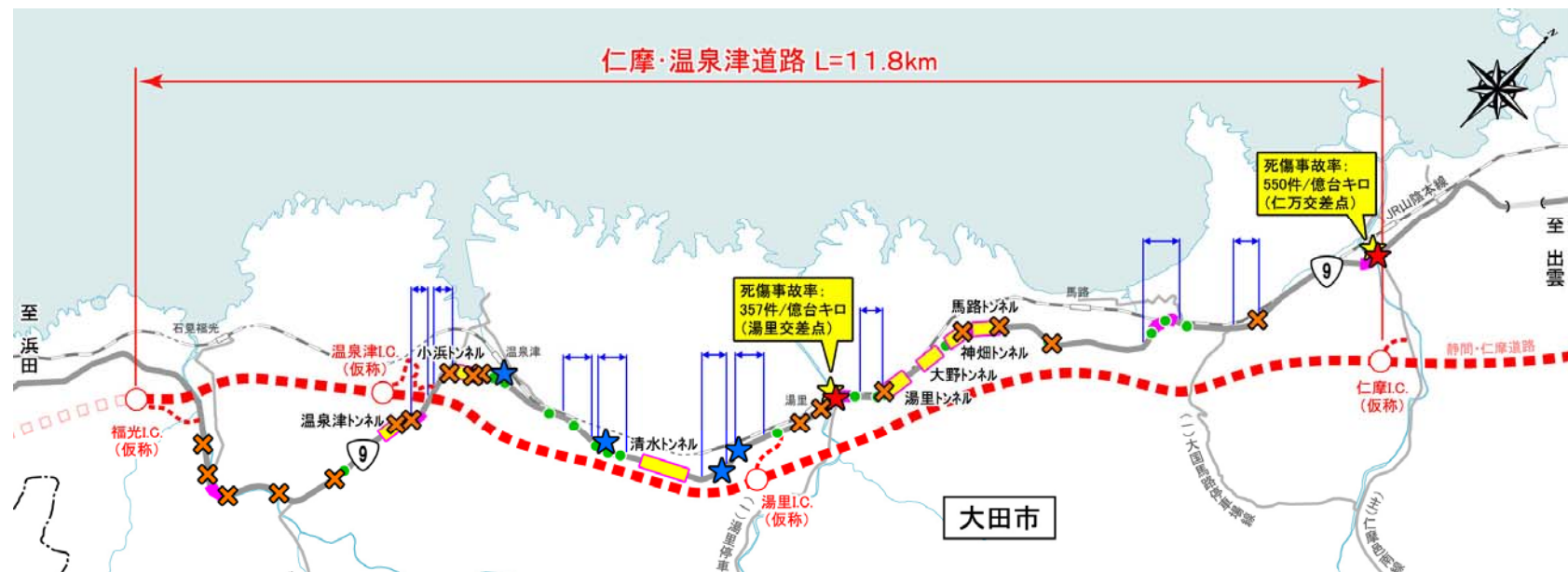


写真④ 下部工施工状況（小浜第1高架橋）



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 仁摩・温泉津道路



課題①: 国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

- : 急カーブ区間(平面曲線半径 $R < 150\text{m}$)
- ▲ : 急勾配区間(縦断勾配 $i > 5\%$)
- : 国際標準コンテナ車通行支障区間(トンネル)
- : 要防災対策箇所

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒道路構造不良箇所の回避による快適で安全な走行が可能

課題②: 全国平均を大きく上回る国道9号の交通事故・致死率

- ★ : 死亡事故発生箇所(H17~H20)
- ☆ : 死傷事故率が高い箇所(H17~H20)
- ※死傷事故率300件/億台キロ以上

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒多発する交通事故(死亡事故など)の削減

課題③: 事故・災害により頻発する国道9号の通行止め

- ✕ : 全面通行止め箇所(H12~H21)

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒代替路線の確保、東西幹線軸の強化

課題④: 重症患者の救急救命

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒搬送時間の短縮や安静搬送による救命率の向上

課題⑤: 円滑なモビリティの確保

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒観光など広域交流の促進や地域活性化

課題⑥: 物流ネットワークの形成

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒物流拠点へのアクセス時間短縮による効率化

課題⑦: 沿道環境の改善

〈期待される道路の役割(効果)〉

⇒走行速度向上による環境負荷の低減

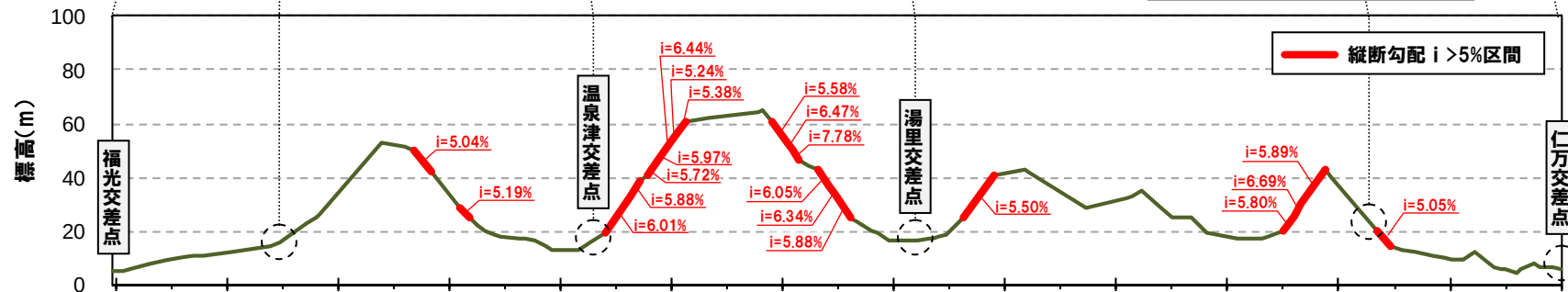
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

課題①: 国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

- 仁摩～温泉津間に多数存在する線形不良箇所(平面線形不良7カ所、急勾配20カ所)や、要防災対策箇所(18カ所)、国際標準コンテナ車通行支障トンネル(7カ所)など道路構造に多くの課題があり、交通のネックとなっている。
- 仁摩・温泉津道路の整備により、安全で快適な走行が可能となる。

平面線形不良区間(平面曲線半径<150m)、国際標準コンテナ車通行支障トンネル、要防災対策箇所



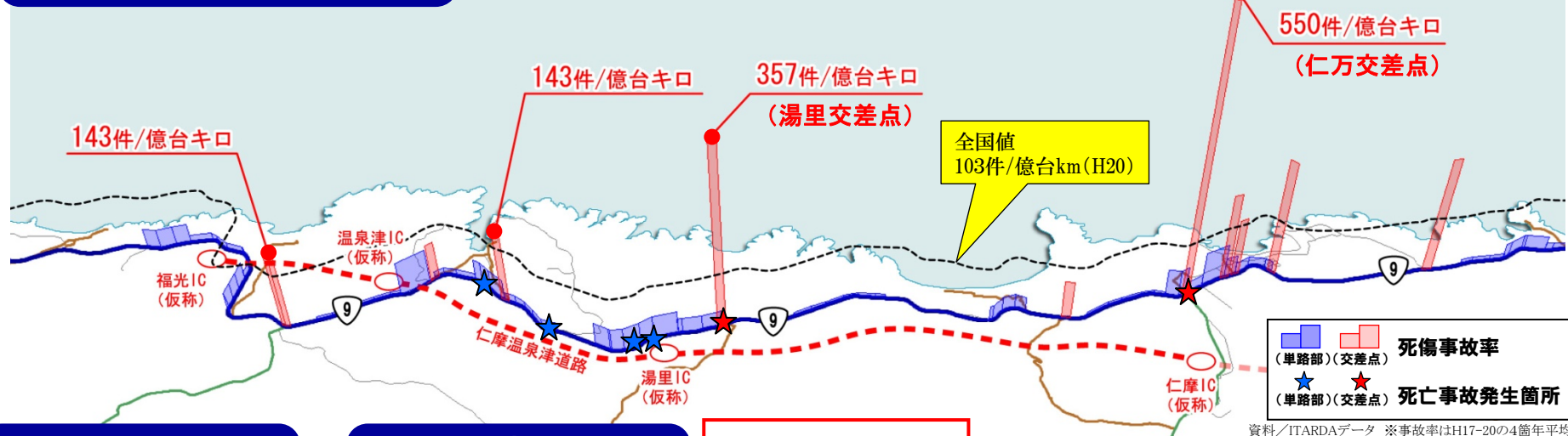
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

課題②: 全国平均を大きく上回る国道9号の交通事故・致死率

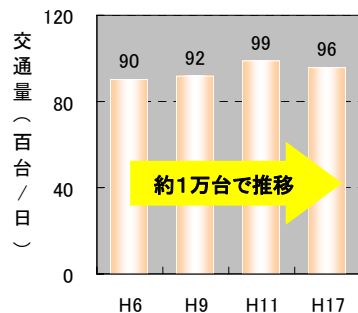
- 仁万交差点・湯里交差点などで、全国値を大きく上回る事故が発生。さらに、並行する国道9号の交通事故致死率は全国平均を大きく上回っており(全国平均の約13倍)、正面衝突事故などの重大な事故の発生割合も高くなっている。
- 仁摩・温泉津道路の整備により、死傷事故などの重大事故件数の削減が期待される。

事故発生状況(死傷事故率3Dマップ)



国道9号の交通量推移

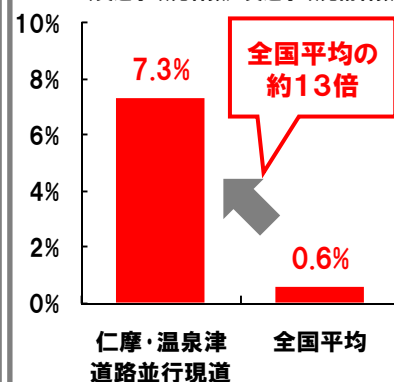
大田市温泉津町湯里の交通量推移



国道9号の事故発生状況

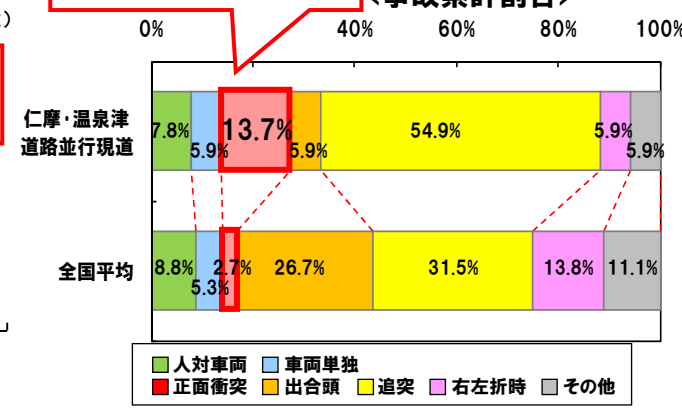
<交通事故致死率>

(交通事故死者数/交通事故死傷者数)



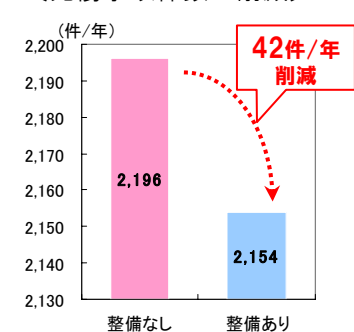
重大事故に繋がる正面衝突の発生割合が高い

<事故累計割合>



期待される道路の役割(効果)

[死傷事故件数の削減]



【算出対象範囲】
死傷事故件数は、当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出。※H42交通量配分結果をもとに対象路線のあり・なしのケースの交通量を用いて算出。

資料/ITARDAデータ ※H17-20の4箇年合計で集計。全国値は警察庁資料を使用

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題③: 事故・災害により頻発する国道9号の通行止め①

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 国道9号大田市仁摩～温泉津間では事故や災害による全面通行止めが年間平均で1.7回(2.7時間)発生。
- 通行止めに伴い、大幅な迂回を強いられるなど生活や物流に大きな支障をきたしている。
- 仁摩・温泉津道路の整備により、代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線軸の強化が期待される。

国道9号大田市仁摩～温泉津間の全面通行止め実績と迂回状況

※図中の全面通行止め箇所はH12～H21の10箇年実績



平成21年6月 集中豪雨による被災の影響(国道9号大田市温泉津町)

約14時間
全面通行止め

平成21年6月22日午前6時半ごろ、大田市温泉津町小浜の国道9号で集中豪雨による法面崩落が発生。現場は約14時間にわたり全面通行止めとなった。



AM6:30頃 国道9号(温泉津町小浜)で法面崩落発生
AM6:35 全面通行止め
PM8:00 全面通行止め解除(片側交互規制)

約14時間の全面通行止めにより: 約7.6千台の交通に影響

※H17道路交通センサス(6～19時台交通量)

期待される道路の役割(効果)

〔迂回時の所要時間短縮の予測〕



※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV=70km/h、
その他はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

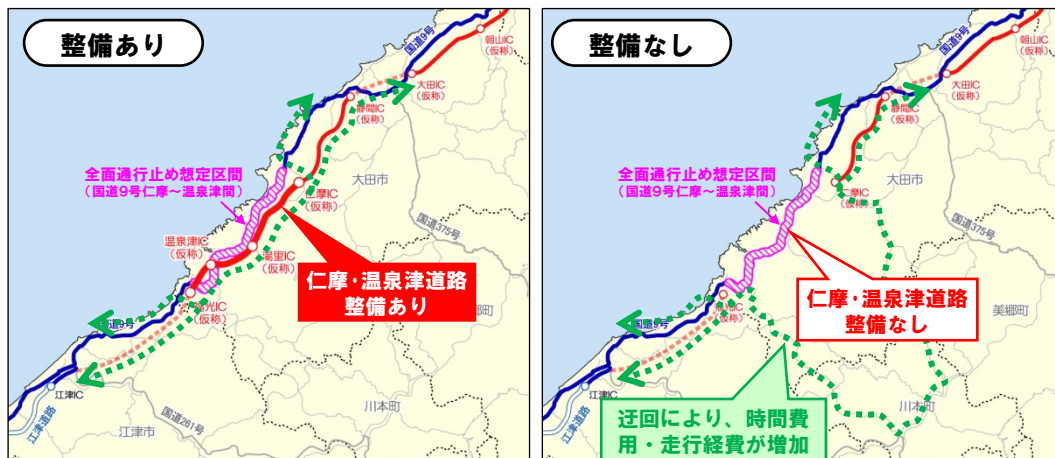
一般国道9号 仁摩・温泉津道路

〈期待される道路の役割(効果)〉事故・災害により頻発する国道9号の通行止め②

- 仁摩・温泉津道路の整備により、当該区間の代替路が確保される。

『通行止めを考慮した効果』算出

例えば、仁摩・温泉津道路並行区間の国道9号（仁摩～温泉津間）が全面通行止めになった場合



国道9号仁摩～温泉津間()が通行止めの場合の費用

国道9号仁摩～温泉津間()が通行止め、**仁摩・温泉津道路が未整備**の場合の費用

【国道9号仁摩～温泉津間の通行止め状況】

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	10ヶ年平均
全面通行止め回数(回/年)	1	1	2	0	2	1	0	4	3	3	1.7
規制時間合計(時間/年)	1.2	2.1	1.4	—	1.5	0.1	—	4.8	0.7	15.8	2.7
規制日数合計(日/年)	0.048	0.087	0.058	—	0.060	0.003	—	0.199	0.028	0.658	0.114

通行止めを考慮した効果(試算した参考値)

- 並行現道(国道9号仁摩～温泉津間)の通行止め状況
 - ・通行止め回数: 1.7回/年
 - ・通行止め時間: 2.7時間/年
 - ・通行止め日数: 0.114日/年

※H12～H21年の平均

- 仁摩・温泉津道路に並行する国道9号が通行止めとなった場合、仁摩・温泉津道路整備により短縮される走行時間等を計測

- 通行止め時に発生する効果
 - H42年便益: 0.046億円
 - ※初年度便益(H27年): 0.049億円

- 供用後50年間の便益額合計
 - ・供用後50年間の便益額合計: 2.11億円
 - (参考値) 現在価値: 0.82億円※
 - ※供用後50年間の便益額を、基準年における現在価値で試算した値

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題④:重症患者の救急救命

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 仁摩～温泉津間を經由する救急搬送件数は年間約240件、月平均では20件も発生している。
- また、県西部では高度な医療を受けようとすると、専門医不足から出雲方面への搬送が避けられない状況である。
- 山陰道の整備により、搬送時間の短縮や迂回リスクの軽減、安静搬送の実現が可能となり、住民の安心な暮らしを支えることが期待される。

仁摩～温泉津間を經由する救急搬送の状況

資料/各消防組合提供データ(※搬送件数はH19～21の平均値)

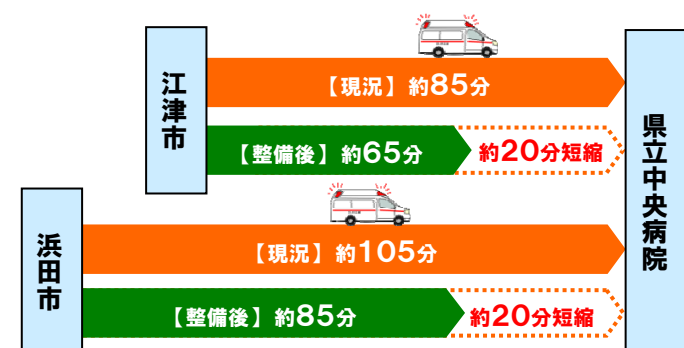


～消防の声～

- ・西部消防署では、(出勤後)各現場から江津総合病院までは平均30分、1つの救急活動で1時間くらいの時間を要する。
(大田市消防本部)
- ・医師不足の問題は深刻であり、今後は出雲方面の第三次救急医療施設への搬送が更に増大する。
(江津邑智消防組合)
- ・浜田医療センターも医師が不足(脳外科の先生は一人)。島根県下唯一の救命救急センターとして24時間体制の救急診療を行っている県立中央病院へのアクセス改善はきわめて重要。
(浜田市消防本部)

期待される道路の役割(効果)

〔山陰道全線整備時の出雲方面への搬送時間の予測〕



※山陰道が全線整備された場合として算出。
山陰道はV=70km/h. その他は規制速度より算出。

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

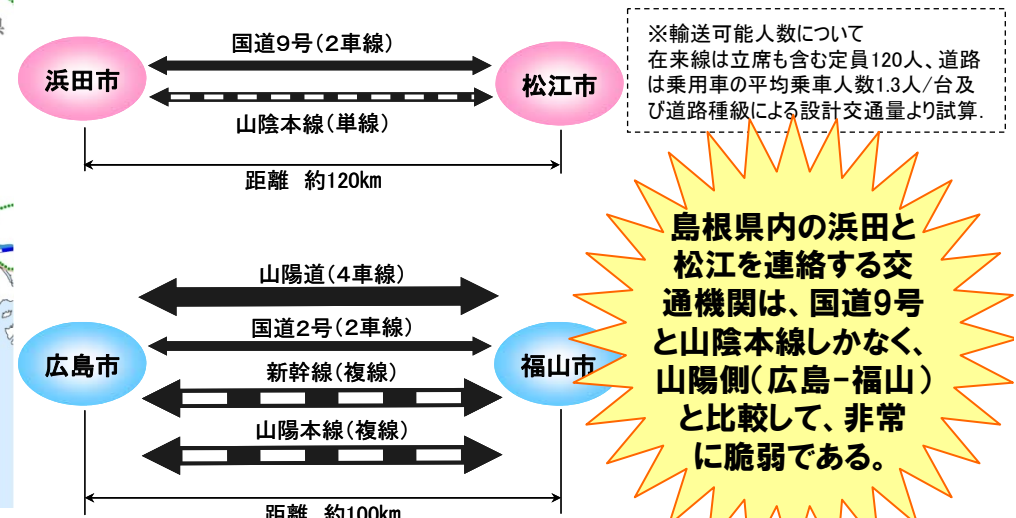
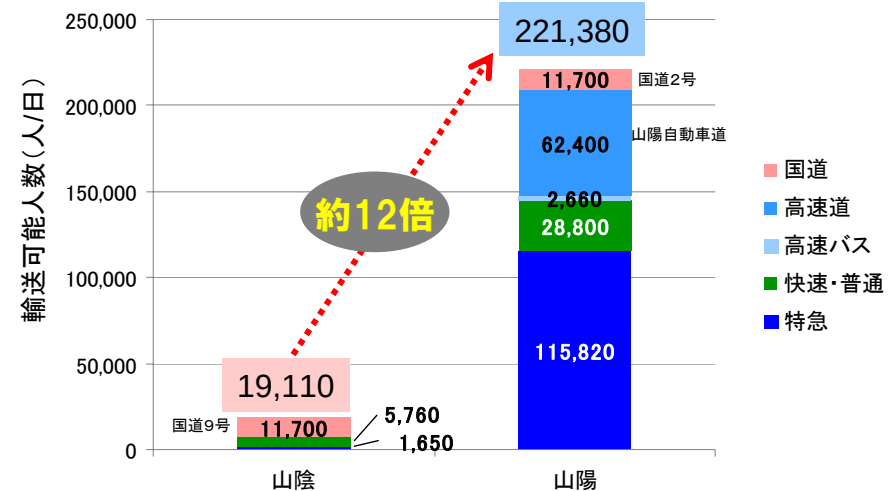
課題⑤:円滑なモビリティの確保①

- 山陰を連絡する交通網は、国道9号(2車線)とJR山陰本線(単線)のみと脆弱であり、山陽との東西輸送力には大きな較差がある。
- 山陰道の整備により、観光など広域交流の促進や地域活性化が期待される。

山陰・山陽の東西輸送力の比較



<輸送可能人数(試算値)の比較>

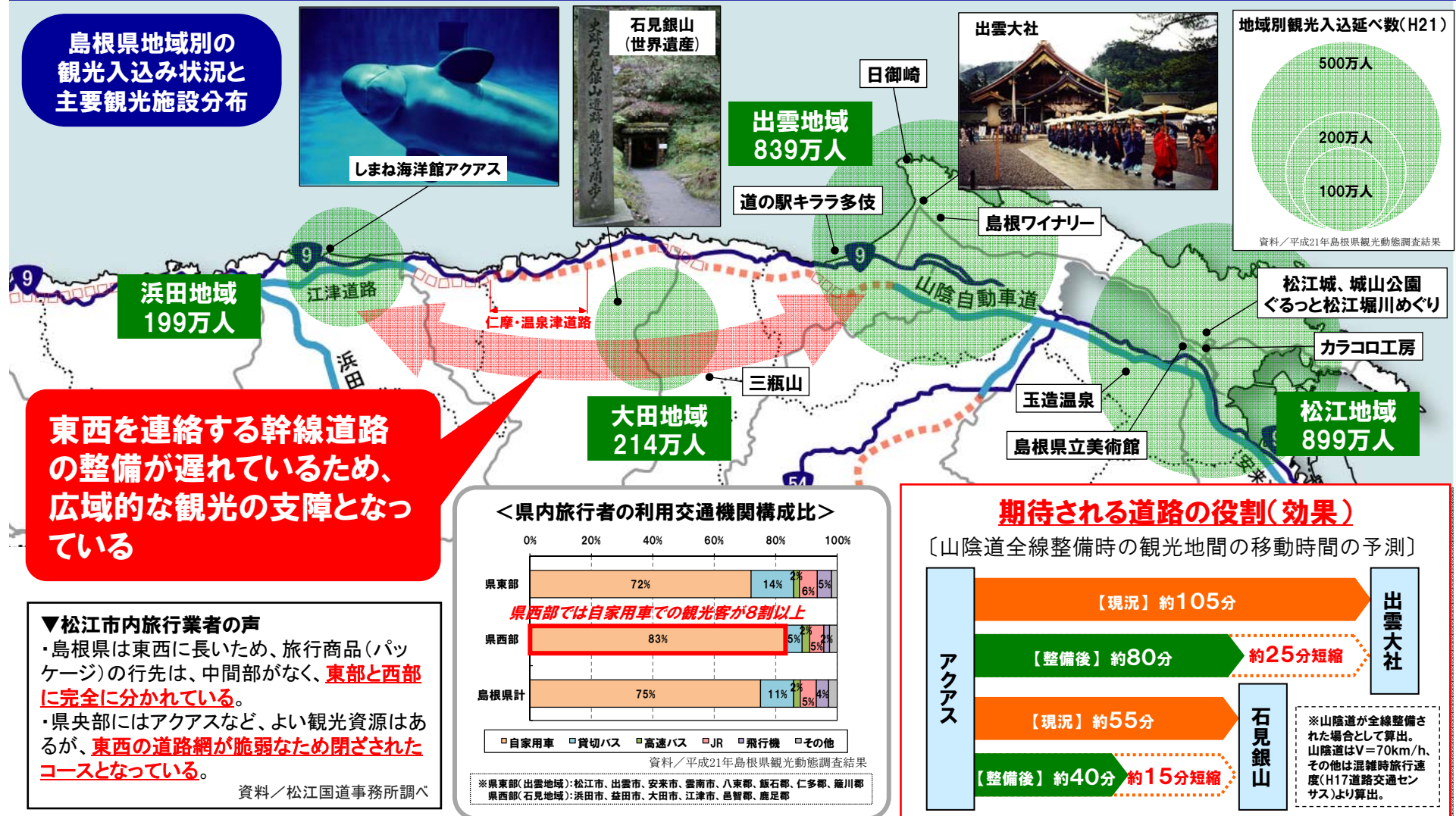


3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

課題⑤:円滑なモビリティの確保②

- 島根県西部地域では観光客の8割以上が自家用車利用となっているにも係らず、高速道路などの交通インフラの整備が遅れており、各地域の一体となった観光連携が図られていない。
- 山陰道の整備により、魅力ある観光地間を周遊可能な広域観光ルート形成に寄与することが期待される。



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題⑥: 物流ネットワークの形成

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 山陰道の整備により、重要港湾浜田港へのアクセス時間短縮による物流が効率化され、国際・国内貿易の促進、物流活動の活性化が期待される。

大田市からの物流拠点へのアクセス



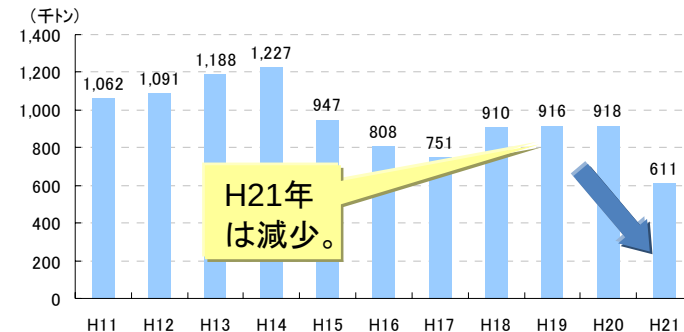
期待される道路の役割(効果)

〔山陰道全線整備時の浜田港への移動時間の予測〕



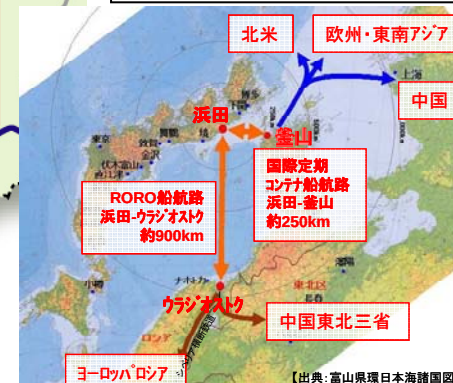
※山陰道が全線整備された場合として算出。山陰道はV=70km/h、その他はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出

○浜田港の利用実績(取り扱い貨物量)



重要港湾浜田港の取り扱い貨物量は、H21年は世界的な景気後退等により減少している。主な取り扱い品は、原木約3割、セメント約2割、完成車約2割となっている。

資料: 島根県



浜田港国際航路の実績

- ・H13.3韓国釜山港間就航
- ・H20.7ウラジオストク港間にRORO船航路が就航
- ※ヨーロッパロシアの販路拡大: H22.6石州瓦3万枚輸出
- ※ロシアへの中古車自動車輸出の回復 1~9月 輸出台数前年比の3.1倍増(財務省貿易統計)

浜田港を活かすためには山陰道の整備が必要

浜田港と高速道路の接続はぜひとも必要。山陰道が整備されれば、浜田港へのアクセスが飛躍的に改善され、原材料の輸入、製品の輸出が効率的になる。浜田港をもっと活かせるのに活かさない。

(企業ヒアリング)

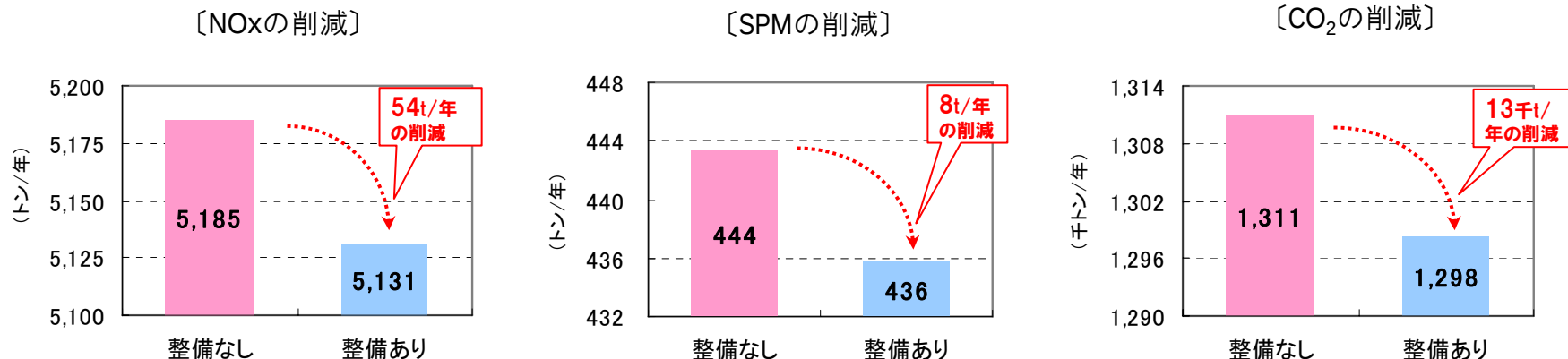
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

課題⑦:沿道環境の改善

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- 仁摩・温泉津道路の整備により、沿道環境の改善が期待される。

期待される道路の役割(効果)



【算出対象範囲】

・CO₂、SPM、NOxは、当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出。※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり・なしのケースの交通量・旅行速度を用いて算出。

環境への影響を考慮した効果(試算した参考値)

■ 削減されるCO₂排出量:
12.5千t/年

上記グラフと表示桁数の関係で、一致しないことがある。

■ C(炭素)に換算した排出量:
3.42千t/年

■ C(炭素)排出量削減による効果:

削減効果(億円/年)

$$= \text{C(炭素)排出量(千t/年)} \times 10,600\text{円/t} \cdot \text{C}$$

$$= 3.42(\text{千t/年}) \times 10,600\text{円/t} \cdot \text{C} = 0.36\text{億円/年}$$

■ 50年の単純合計 : 16.61億円

■ 基準年における現在価値※ : 6.44億円

CO₂貨幣価値原単位10,600円/トン・C

公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編) H20.6国土交通省

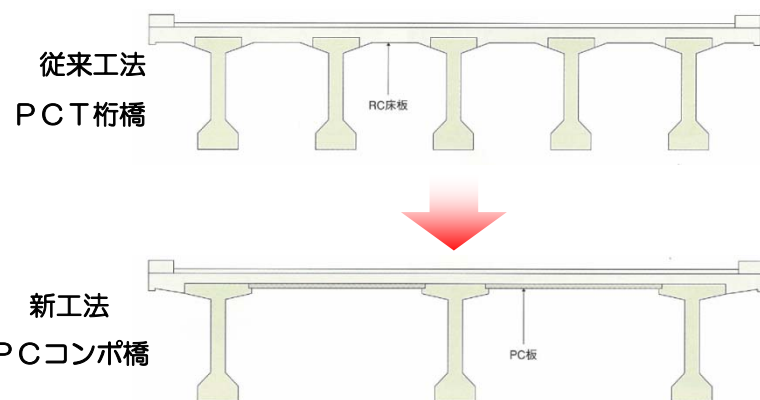
※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

4. コスト縮減に関する資料

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

- PCT桁橋による主桁構造の変更や施工方法の変更による材料費の縮減、及びPC箱桁における外ケーブル構造の採用により主桁断面の縮小やPC・鋼材量の縮減によるコスト縮減を図っている。

PCコンボ橋の採用



【PCコンボ橋の特徴】

- ・主桁及び中間横桁を少数化し、桁高を大きくすることで構造の合理化を図る。
また、主桁をプレキャストセグメント工法で製作し、床版はプレキャストPC床版(PC合成床版)を使用し施工する。

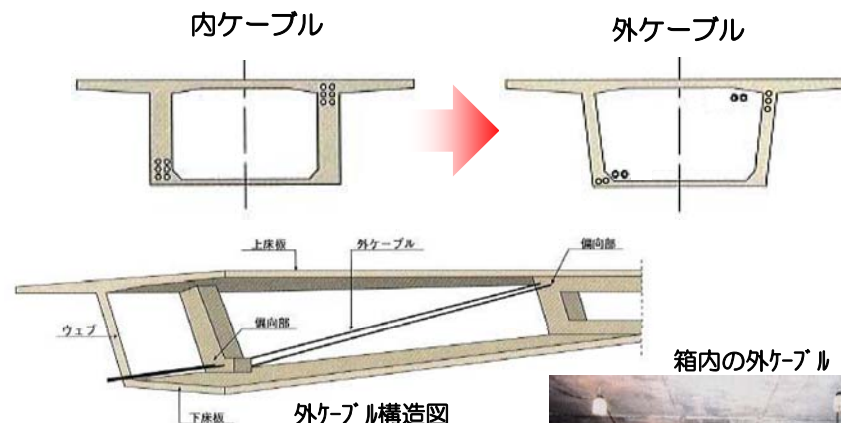
- ・少数主桁化による材料費のコスト縮減、現場施工の省力化、工期短縮等



PCコンボ橋下

約5千万円のコスト縮減

外ケーブル(内・外併用ケーブル方式)の採用



【外ケーブルの特徴】 (内・外併用ケーブル方式)

- ・部分的に部材断面の外側にケーブル配置するため、部材を薄くできる。
- ・鋼材組立やコンクリート打設作業が軽減され、施工性が向上する。
- ・PC鋼材の点検や交換が容易で、維持管理に優れる。

- ・外ケーブル構造によるウェブ厚の縮小により、コンクリート重量やPC・鋼材量の縮減によるコスト縮減



約5千万円のコスト縮減

5. 事業の効果

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

●地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項 目	全体事業	残事業
費用 (C)	530	213
事業費	507	190
維持管理費	23	23
便益額 (B)	908	908
走行時間短縮便益	693	693
走行経費減少便益	159	159
交通事故減少便益	56	56
費用便益比	1.7	4.3

便益計測対象項目	内 容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

※費用便益比については、暫定2車線整備時の「費用 (C)」、「便益 (B)」により算出

◆道路の役割

■道路の役割(+α)

- ①環境への影響を考慮した効果[約12.5千トンのCO2削減]【+6.44億円】※
仁摩・温泉津道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
- ②交通事故・災害による通行止めの影響を考慮した効果【+0.82億円】※
- ③重症患者の救急救命[例]江津市～県立中央病院までの所要時間短縮約20分]
- ④物流効率化の支援[例]大田市～浜田港までの所要時間短縮約15分]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

	計画交通量	総事業費	総費用 (C)	総便益 (B)	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
参考① (3 便益)	15,300～15,700台/日	約524億円	530億円	908億円	1.7 (4.3)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	15,300～15,700台/日	約524億円	530億円	908億円 + α	—

※基準年: H22年

6. 今後の対応方針

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇並行する国道9号では、交通隘路区間で交通死亡事故が多発しており、また交通事故や災害による通行止めにより著しい渋滞や大幅な迂回も発生している。

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)=1.7(事業全体) 4.3(残事業)

◇道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果[約12.5千トン/年のCO2削減]【+6.44億円】※
仁摩・温泉津道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定。
- ②交通事故・災害による通行止めの影響を考慮した効果【+0.82億円】※
- ③重症患者の救急救命[例)江津市～県立中央病院までの所要時間短縮約20分]
- ④物流効率化の支援[例)大田市～浜田港までの所要時間短縮約15分]

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

3) 事業の進捗状況

◇平成21年度末までに用地買収が94%完了しており、現在、工事を推進している。

②事業の進捗見込み

◇事業効果の早期発現のため暫定2車線での早期供用を目指す。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇新工法の導入や設計の工夫によるコスト縮減。【約1億円】

◇当面、暫定2車線で整備

2. 県への意見照会結果

一般国道9号仁摩・温泉津道路について、継続するとの対応方針(原案)については、異存ありません。
仁摩温泉津道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。
また、隣接する温泉津江津間についても、事業化の前提となる都市計画決定手続きの早期実施、新規事業着手について特段の配慮をお願いする。
その他の山陰道の各区分間についても、未着手区分間の早期事業着手、事業中区分間の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、更なるコスト縮減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。

<参考資料> 前回評価時との比較

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

◆前回評価時との比較

	前回評価 (H20再評価)	今回評価 (H22再評価)	備 考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=11.8km	L=11.8km	
計画交通量	15,500～15,800台/日	15,300～15,700台/日	・当面の暫定2車線整備
総事業費	約660億円	約524億円	・当面の暫定2車線整備
総費用 (C)	577億円	530億円	・基準年の変更(H20基準からH22基準) ・当面の暫定2車線整備
総便益 (B)	872億円	908億円	・基準年の変更(H20基準からH22基準) ・当面の暫定2車線整備
費用対効果 (B/C)	1.5	1.7	・総費用および総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道9号 仁摩・温泉津道路

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号 仁摩・温泉津道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) =1.7 (経済的純現在価値 (B-C) =378億円、経済的内部収益率 (EIRR) =7.0%) 残事業：費用便益比 (B/C) =4.3 (経済的純現在価値 (B-C) =695億円、経済的内部収益率 (EIRR) =18.5%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失削減時間：396千人・時間/年 (15,228千人・時間/年⇒14,832千人・時間/年) 渋滞損失削減率：3%
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通 (大田江津線) 1日10便の路線バスの利便性向上が見込まれる
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	特急停車駅である大田市駅へのアクセス向上が見込まれる (大田市温泉津町～大田市駅：27分→24分)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	江津市から出雲空港 (第三種空港) へのアクセス向上が見込まれる (110分⇒80分) ※山陰道が全線整備された場合の値
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	大田市から浜田港へのアクセス向上が見込まれる (80分⇒65分) ※山陰道が全線整備された場合の値
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		■ 現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	国際標準コンテナ通行支障区間を解消する [馬路、神畑、大野、湯里、清水、小浜、温泉津の各トンネル] (対象区間：国道9号 大田市仁摩町大国～大田市温泉津町今浦 要因：空間高不足)
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上) への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	☒ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	山陰自動車道
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	
		☒ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	大田市～浜田市間を高規格幹線道路で連絡する
		☒ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市大田市～浜田市間の所要時間短縮が見込まれる（70分⇒55分）※山陰道が全線整備された場合の値
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		☒ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	大田市温泉津町から大田市への所要時間短縮が見込まれる（30分⇒25分）※山陰道が全線整備された場合の値
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	石見銀山（年間観光客入り込み数：56万人（H21））へのアクセス向上が見込まれる
		☐ 特別立法に基づく事業である	
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	江津市から県立中央病院へ20分短縮（85分→65分）※山陰道が全線整備された場合の値

3. 安全	安全な生活環境の確保	■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	国道9号仁万交差点（死傷事故率：549.6件/億台km）での事故件数の減少が見込まれる
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H9年3月策定）において第1次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道9号、代替する区間：大田市仁摩町～大田市温泉津町間
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	現道区間の要防災対策箇所18箇所を回避
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：13千t/年、排出削減率：約1%削減（整備なし：1,311千t/年⇒整備あり：1,298千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：54t/年、排出削減率：約1%削減（整備なし：5,185t/年⇒整備あり：5,131t/年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：8t/年、排出削減率：約2%削減（整備なし：444t/年⇒整備あり：436t/年）
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	静間・仁摩道路
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根県総合発展計画 平成20年4月 大田市総合計画2007-2016 平成19年3月
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	仁摩・温泉津道路	L= 11.8 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,300～15,700	2	中国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	500億円	62億円	561億円
うち残事業分	209億円	62億円	271億円
基準年における 現在価値 (C)	507億円	23億円	530億円
うち残事業分	190億円	23億円	213億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	41億円	9.4億円	3.4億円	54億円
基準年における 現在価値 (B)	693億円	159億円	56億円	908億円
うち残事業分	693億円	159億円	56億円	908億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	378億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.0%
費用便益比（残事業）	4.3
経済的純現在価値（残事業）	695億円
経済的内部収益率（残事業）	18.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	15,300～15,700	± 1 0 %	3.7～4.9
事業費	209億円	± 1 0 %	3.9～4.7
事業期間	4年	± 2 0 %	4.1～4.4

交通状況の変化

様式－３①

事業名：仁摩・温泉津道路（事業全体）

（推計時点 H 4 2 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 : 11.8km		交通量※ ¹	[台/日]	—	15,500
		走行時間※ ²	[分]	—	10
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	31.37
②主な周辺道路※ ⁴	国道9号 : 13.0km	交通量	[台/日]	15,800	1,000
		走行時間	[分]	18	17
		走行時間費用	[億円/年]	58.25	2.93
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 4175.5km		走行時間費用	[億円/年]	2,809.89	2,795.69

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4200.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,868.14	2,829.99	38.15

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について 3 ～ 5 路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－３①

事業名：仁摩・温泉津道路（残事業）

（推計時点　　H 4 2 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 : 11.8km	交通量※ ¹	[台/日]	—	15,500	
	走行時間※ ²	[分]	—	10	
	走行時間費用※ ³	[億円/年]	—	31.37	
②主な周辺道路※ ⁴	国道9号 : 13.0km	交通量	[台/日]	15,800	1,000
		走行時間	[分]	18	17
		走行時間費用	[億円/年]	58.25	2.93
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 4175.5km		走行時間費用	[億円/年]	2,809.89	2,795.69

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4200.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,868.14	2,829.99	38.15

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について 3 ～ 5 路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：仁摩・温泉津道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成22年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (平成42年)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		無	☒	
	開発交通量の考慮	有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	() 台トリップ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	☐
山間部海岸部で併行道路が少ない			☐	
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		☐	
	採用理由を記載			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他(最終配分交通量とQV式の関係から平均速度を設定)		☒	

(3)

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	☐
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	☐
	冬期交通の影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	☐		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☒		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
その他				

(4)

(4)

[illegible]

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)雪寒費除く		
単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.11	11.8	1.30

箇所名: 仁摩・温泉津道路(事業全体)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-16年目	H 11	1.5395	101.3	0.95	1.32		
-15年目	H 12	1.4802	99.7	0.86	1.17		
-14年目	H 13	1.4233	98.4	8.95	11.82		
-13年目	H 14	1.3686	96.6	2.29	2.96		
-12年目	H 15	1.3159	95.4	4.48	5.64		
-11年目	H 16	1.2653	94.4	7.71	9.44		
-10年目	H 17	1.2167	93.2	15.61	18.60		
-9年目	H 18	1.1699	92.5	21.69	25.05		
-8年目	H 19	1.1249	91.7	55.25	61.88		
-7年目	H 20	1.0816	91.3	61.30	66.30		
-6年目	H 21	1.0400	91.3	61.08	63.52		
-5年目	H 22	1.0000	91.3	50.50	50.50		
-4年目	H 23	0.9615	91.3	39.46	37.94		
-3年目	H 24	0.9246	91.3	65.35	60.42		
-2年目	H 25	0.8890	91.3	74.25	66.01		
-1年目	H 26	0.8548	91.3	29.85	25.52		
供用開始年次	H 27	0.8219	91.3			1.24	1.02
1年目	H 28	0.7903	91.3			1.24	0.98
2年目	H 29	0.7599	91.3			1.24	0.94
3年目	H 30	0.7307	91.3			1.24	0.90
4年目	H 31	0.7026	91.3			1.24	0.87
5年目	H 32	0.6756	91.3			1.24	0.84
6年目	H 33	0.6496	91.3			1.24	0.80
7年目	H 34	0.6246	91.3			1.24	0.77
8年目	H 35	0.6006	91.3			1.24	0.74
9年目	H 36	0.5775	91.3			1.24	0.71
10年目	H 37	0.5553	91.3			1.24	0.69
11年目	H 38	0.5339	91.3			1.24	0.66
12年目	H 39	0.5134	91.3			1.24	0.63
13年目	H 40	0.4936	91.3			1.24	0.61
14年目	H 41	0.4746	91.3			1.24	0.59
15年目	H 42	0.4564	91.3			1.24	0.56
16年目	H 43	0.4388	91.3			1.24	0.54
17年目	H 44	0.4220	91.3			1.24	0.52
18年目	H 45	0.4057	91.3			1.24	0.50
19年目	H 46	0.3901	91.3			1.24	0.48
20年目	H 47	0.3751	91.3			1.24	0.46
21年目	H 48	0.3607	91.3			1.24	0.45
22年目	H 49	0.3468	91.3			1.24	0.43
23年目	H 50	0.3335	91.3			1.24	0.41
24年目	H 51	0.3207	91.3			1.24	0.40
25年目	H 52	0.3083	91.3			1.24	0.38
26年目	H 53	0.2965	91.3			1.24	0.37
27年目	H 54	0.2851	91.3			1.24	0.35
28年目	H 55	0.2741	91.3			1.24	0.34
29年目	H 56	0.2636	91.3			1.24	0.33
30年目	H 57	0.2534	91.3			1.24	0.31
31年目	H 58	0.2437	91.3			1.24	0.30
32年目	H 59	0.2343	91.3			1.24	0.29
33年目	H 60	0.2253	91.3			1.24	0.28
34年目	H 61	0.2166	91.3			1.24	0.27
35年目	H 62	0.2083	91.3			1.24	0.26
36年目	H 63	0.2003	91.3			1.24	0.25
37年目	H 64	0.1926	91.3			1.24	0.24
38年目	H 65	0.1852	91.3			1.24	0.23
39年目	H 66	0.1780	91.3			1.24	0.22
40年目	H 67	0.1712	91.3			1.24	0.21
41年目	H 68	0.1646	91.3			1.24	0.20
42年目	H 69	0.1583	91.3			1.24	0.20
43年目	H 70	0.1522	91.3			1.24	0.19
44年目	H 71	0.1463	91.3			1.24	0.18
45年目	H 72	0.1407	91.3			1.24	0.17
46年目	H 73	0.1353	91.3			1.24	0.17
47年目	H 74	0.1301	91.3			1.24	0.16
48年目	H 75	0.1251	91.3			1.24	0.15
49年目	H 76	0.1203	91.3	-5.93	-0.71	1.24	0.15
合 計				493.65	507.37	61.81	22.70

単純事業費計		499.58	61.81
--------	--	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名: 仁摩・温泉津道路(残事業)

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)雪寒費除く		
単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)
0.11	11.8	1.30

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単価単価	現在単価	単価単価	現在単価
-4年目	H 23	0.9615	91.3	39.46	37.94		
-3年目	H 24	0.9246	91.3	65.35	60.42		
-2年目	H 25	0.8890	91.3	74.25	66.01		
-1年目	H 26	0.8548	91.3	29.85	25.52		
供用開始年次	H 27	0.8219	91.3			1.24	1.02
1年目	H 28	0.7903	91.3			1.24	0.98
2年目	H 29	0.7599	91.3			1.24	0.94
3年目	H 30	0.7307	91.3			1.24	0.90
4年目	H 31	0.7026	91.3			1.24	0.87
5年目	H 32	0.6756	91.3			1.24	0.84
6年目	H 33	0.6496	91.3			1.24	0.80
7年目	H 34	0.6246	91.3			1.24	0.77
8年目	H 35	0.6006	91.3			1.24	0.74
9年目	H 36	0.5775	91.3			1.24	0.71
10年目	H 37	0.5553	91.3			1.24	0.69
11年目	H 38	0.5339	91.3			1.24	0.66
12年目	H 39	0.5134	91.3			1.24	0.63
13年目	H 40	0.4936	91.3			1.24	0.61
14年目	H 41	0.4746	91.3			1.24	0.59
15年目	H 42	0.4564	91.3			1.24	0.56
16年目	H 43	0.4388	91.3			1.24	0.54
17年目	H 44	0.4220	91.3			1.24	0.52
18年目	H 45	0.4057	91.3			1.24	0.50
19年目	H 46	0.3901	91.3			1.24	0.48
20年目	H 47	0.3751	91.3			1.24	0.46
21年目	H 48	0.3607	91.3			1.24	0.45
22年目	H 49	0.3468	91.3			1.24	0.43
23年目	H 50	0.3335	91.3			1.24	0.41
24年目	H 51	0.3207	91.3			1.24	0.40
25年目	H 52	0.3083	91.3			1.24	0.38
26年目	H 53	0.2965	91.3			1.24	0.37
27年目	H 54	0.2851	91.3			1.24	0.35
28年目	H 55	0.2741	91.3			1.24	0.34
29年目	H 56	0.2636	91.3			1.24	0.33
30年目	H 57	0.2534	91.3			1.24	0.31
31年目	H 58	0.2437	91.3			1.24	0.30
32年目	H 59	0.2343	91.3			1.24	0.29
33年目	H 60	0.2253	91.3			1.24	0.28
34年目	H 61	0.2166	91.3			1.24	0.27
35年目	H 62	0.2083	91.3			1.24	0.26
36年目	H 63	0.2003	91.3			1.24	0.25
37年目	H 64	0.1926	91.3			1.24	0.24
38年目	H 65	0.1852	91.3			1.24	0.23
39年目	H 66	0.1780	91.3			1.24	0.22
40年目	H 67	0.1712	91.3			1.24	0.21
41年目	H 68	0.1646	91.3			1.24	0.20
42年目	H 69	0.1583	91.3			1.24	0.20
43年目	H 70	0.1522	91.3			1.24	0.19
44年目	H 71	0.1463	91.3			1.24	0.18
45年目	H 72	0.1407	91.3			1.24	0.17
46年目	H 73	0.1353	91.3			1.24	0.17
47年目	H 74	0.1301	91.3			1.24	0.16
48年目	H 75	0.1251	91.3			1.24	0.15
49年目	H 76	0.1203	91.3	-0.40	-0.05	1.24	0.15
合 計				208.51	189.84	61.81	22.70

単純事業費計		208.91	61.81
--------	--	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：仁摩・温泉津道路（事業全体）

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	0.99662	0.99320	0.99555	0.8219	91.3	12.53	3.68	24.77	40.98	33.68	2.65	0.65	6.08	9.38	7.71	3.37	2.77	53.73	44.16
1年目	H 28	0.99661	0.99316	0.99553	0.7903	91.3	12.49	3.65	24.60	40.75	32.20	2.64	0.65	6.03	9.33	7.37	3.35	2.65	53.42	42.22
2年目	H 29	0.99660	0.99311	0.99551	0.7599	91.3	12.45	3.63	24.43	40.51	30.78	2.63	0.65	5.99	9.27	7.04	3.34	2.53	53.11	40.36
3年目	H 30	0.99659	0.99306	0.99549	0.7307	91.3	12.41	3.60	24.26	40.27	29.43	2.62	0.64	5.95	9.21	6.73	3.32	2.43	52.81	38.59
4年目	H 31	0.99657	0.99301	0.99547	0.7026	91.3	12.36	3.58	24.09	40.03	28.13	2.61	0.64	5.91	9.16	6.44	3.31	2.32	52.50	36.89
5年目	H 32	0.99656	0.99296	0.99545	0.6756	91.3	12.32	3.55	23.92	39.80	26.88	2.60	0.63	5.87	9.10	6.15	3.29	2.22	52.19	35.26
6年目	H 33	0.99617	0.99572	0.99603	0.6496	91.3	12.27	3.54	23.82	39.63	25.74	2.59	0.63	5.84	9.07	5.89	3.28	2.13	51.98	33.76
7年目	H 34	0.99615	0.99570	0.99602	0.6246	91.3	12.23	3.52	23.72	39.47	24.65	2.58	0.63	5.82	9.03	5.64	3.26	2.04	51.76	32.33
8年目	H 35	0.99614	0.99569	0.99600	0.6006	91.3	12.18	3.51	23.62	39.30	23.60	2.57	0.62	5.79	8.99	5.40	3.25	1.95	51.54	30.96
9年目	H 36	0.99613	0.99567	0.99598	0.5775	91.3	12.13	3.49	23.52	39.14	22.60	2.56	0.62	5.77	8.95	5.17	3.24	1.87	51.33	29.64
10年目	H 37	0.99611	0.99565	0.99597	0.5553	91.3	12.09	3.47	23.41	38.97	21.64	2.55	0.62	5.74	8.92	4.95	3.23	1.79	51.11	28.38
11年目	H 38	0.99609	0.99563	0.99595	0.5339	91.3	12.04	3.46	23.31	38.81	20.72	2.54	0.62	5.72	8.88	4.74	3.21	1.72	50.90	27.18
12年目	H 39	0.99608	0.99561	0.99593	0.5134	91.3	11.99	3.44	23.21	38.64	19.84	2.53	0.61	5.69	8.84	4.54	3.20	1.64	50.68	26.02
13年目	H 40	0.99606	0.99559	0.99592	0.4936	91.3	11.94	3.43	23.11	38.48	18.99	2.52	0.61	5.67	8.80	4.35	3.19	1.57	50.47	24.91
14年目	H 41	0.99605	0.99557	0.99590	0.4746	91.3	11.90	3.41	23.00	38.31	18.19	2.51	0.61	5.64	8.76	4.16	3.17	1.51	50.25	23.85
15年目	H 42	0.99603	0.99555	0.99588	0.4564	91.3	11.85	3.40	22.90	38.15	17.41	2.50	0.60	5.62	8.73	3.98	3.16	1.44	50.04	22.84
16年目	H 43	0.98990	0.99727	0.99217	0.4388	91.3	11.73	3.39	22.84	37.96	16.66	2.48	0.60	5.60	8.68	3.81	3.14	1.38	49.78	21.84
17年目	H 44	0.98980	0.99727	0.99211	0.4220	91.3	11.61	3.38	22.78	37.77	15.94	2.45	0.60	5.59	8.64	3.65	3.11	1.31	49.52	20.89
18年目	H 45	0.98969	0.99726	0.99205	0.4057	91.3	11.49	3.37	22.71	37.57	15.25	2.43	0.60	5.57	8.60	3.49	3.09	1.25	49.26	19.99
19年目	H 46	0.98958	0.99725	0.99198	0.3901	91.3	11.37	3.36	22.65	37.38	14.58	2.40	0.60	5.56	8.56	3.34	3.06	1.19	49.00	19.12
20年目	H 47	0.98948	0.99724	0.99192	0.3751	91.3	11.25	3.35	22.59	37.19	13.95	2.38	0.60	5.54	8.52	3.19	3.04	1.14	48.74	18.28
21年目	H 48	0.98936	0.99724	0.99185	0.3607	91.3	11.13	3.34	22.53	37.00	13.35	2.35	0.60	5.53	8.47	3.06	3.01	1.09	48.49	17.49
22年目	H 49	0.98925	0.99723	0.99178	0.3468	91.3	11.01	3.33	22.46	36.81	12.77	2.33	0.59	5.51	8.43	2.92	2.99	1.04	48.23	16.73
23年目	H 50	0.98913	0.99722	0.99172	0.3335	91.3	10.89	3.32	22.40	36.62	12.21	2.30	0.59	5.49	8.39	2.80	2.96	0.99	47.97	16.00
24年目	H 51	0.98901	0.99721	0.99165	0.3207	91.3	10.77	3.32	22.34	36.43	11.68	2.28	0.59	5.48	8.35	2.68	2.94	0.94	47.71	15.30
25年目	H 52	0.98889	0.99721	0.99158	0.3083	91.3	10.65	3.31	22.28	36.24	11.17	2.25	0.59	5.46	8.30	2.56	2.91	0.90	47.45	14.63
26年目	H 53	0.98877	0.99720	0.99150	0.2965	91.3	10.53	3.30	22.21	36.04	10.69	2.23	0.59	5.45	8.26	2.45	2.89	0.86	47.19	13.99
27年目	H 54	0.98864	0.99719	0.99143	0.2851	91.3	10.41	3.29	22.15	35.85	10.22	2.20	0.59	5.43	8.22	2.34	2.86	0.82	46.94	13.38
28年目	H 55	0.98851	0.99718	0.99136	0.2741	91.3	10.29	3.28	22.09	35.66	9.77	2.18	0.58	5.42	8.18	2.24	2.84	0.78	46.68	12.79
29年目	H 56	0.98837	0.99717	0.99128	0.2636	91.3	10.17	3.27	22.03	35.47	9.35	2.15	0.58	5.40	8.14	2.14	2.81	0.74	46.42	12.23
30年目	H 57	0.98824	0.99717	0.99121	0.2534	91.3	10.05	3.26	21.96	35.28	8.94	2.13	0.58	5.39	8.09	2.05	2.79	0.71	46.16	11.70
31年目	H 58	0.98810	0.99716	0.99113	0.2437	91.3	9.93	3.25	21.90	35.09	8.55	2.10	0.58	5.37	8.05	1.96	2.76	0.67	45.90	11.18
32年目	H 59	0.98795	0.99715	0.99105	0.2343	91.3	9.81	3.24	21.84	34.90	8.18	2.07	0.58	5.36	8.01	1.88	2.74	0.64	45.64	10.69
33年目	H 60	0.98781	0.99714	0.99097	0.2253	91.3	9.69	3.23	21.78	34.70	7.82	2.05	0.58	5.34	7.97	1.79	2.71	0.61	45.39	10.22
34年目	H 61	0.98766	0.99713	0.99088	0.2166	91.3	9.58	3.22	21.71	34.51	7.48	2.02	0.57	5.33	7.92	1.72	2.69	0.58	45.13	9.78
35年目	H 62	0.98750	0.99713	0.99080	0.2083	91.3	9.46	3.21	21.65	34.32	7.15	2.00	0.57	5.31	7.88	1.64	2.67	0.56	44.87	9.35
36年目	H 63	0.98735	0.99712	0.99072	0.2003	91.3	9.34	3.20	21.59	34.13	6.84	1.97	0.57	5.30	7.84	1.57	2.64	0.53	44.61	8.93
37年目	H 64	0.98718	0.99711	0.99063	0.1926	91.3	9.22	3.20	21.53	33.94	6.54	1.95	0.57	5.28	7.80	1.50	2.62	0.50	44.35	8.54
38年目	H 65	0.98702	0.99710	0.99054	0.1852	91.3	9.10	3.19	21.47	33.75	6.25	1.92	0.57	5.26	7.76	1.44	2.59	0.48	44.09	8.16
39年目	H 66	0.98685	0.99709	0.99045	0.1780	91.3	8.98	3.18	21.40	33.56	5.97	1.90	0.57	5.25	7.71	1.37	2.57	0.46	43.84	7.80
40年目	H 67	0.98667	0.99708	0.99036	0.1712	91.3	8.86	3.17	21.34	33.37	5.71	1.87	0.56	5.23	7.67	1.31	2.54	0.44	43.58	7.46
41年目	H 68	0.98649	0.99708	0.99026	0.1646	91.3	8.74	3.16	21.28	33.17	5.46	1.85	0.56	5.22	7.63	1.26	2.52	0.41	43.32	7.13
42年目	H 69	0.98631	0.99707	0.99017	0.1583	91.3	8.62	3.15	21.22	32.98	5.22	1.82	0.56	5.20	7.59	1.20	2.49	0.39	43.06	6.82
43年目	H 70	0.98612	0.99706	0.99007	0.1522	91.3	8.50	3.14	21.15	32.79	4.99	1.80	0.56	5.19	7.54	1.15	2.47	0.38	42.80	6.51
44年目	H 71	0.98592	0.99705	0.98997	0.1463	91.3	8.38	3.13	21.09	32.60	4.77	1.77	0.56	5.17	7.50	1.10	2.44	0.36	42.54	6.23
45年目	H 72	0.98572	0.99704	0.98987	0.1407	91.3	8.26	3.12	21.03	32.41	4.56	1.75	0.56	5.16	7.46	1.05	2.42	0.34	42.29	5.95
46年目	H 73	0.98551	0.99703	0.98977	0.1353	91.3	8.14	3.11	20.97	32.22	4.36	1.72	0.55	5.14	7.42	1.00	2.39	0.32	42.03	5.69
47年目	H 74	0.98530	0.99702	0.98966	0.1301	91.3	8.02	3.10	20.90	32.03	4.17	1.70	0.55	5.13	7.37	0.96	2.37	0.31	41.77	5.43
48年目	H 75	0.98508	0.99701	0.98955	0.1251	91.3	7.90	3.09	20.84	31.83	3.98	1.67	0.55	5.11	7.33	0.92	2.34	0.29	41.51	5.19
49年目	H 76	0.98485	0.99700	0.98944	0.1203	91.3	7.78	3.08	20.78	31.64	3.81	1.64	0.55	5.10	7.29	0.88	2.32	0.28	41.25	4.96
合 計							526.84	166.41	1,121.20	1,814.45	692.80	111.38	29.62	275.00	416.00	158.68	144.88	56.26	2,375.32	907.74

便益の現在価値算定表

箇所名：仁摩・温泉津道路（残事業）

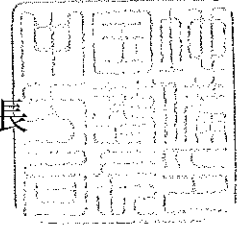
年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	0.99662	0.99320	0.99555	0.8219	91.3	12.53	3.68	24.77	40.98	33.68	2.65	0.65	6.08	9.38	7.71	3.37	2.77	53.73	44.16
1年目	H 28	0.99661	0.99316	0.99553	0.7903	91.3	12.49	3.65	24.60	40.75	32.20	2.64	0.65	6.03	9.33	7.37	3.35	2.65	53.42	42.22
2年目	H 29	0.99660	0.99311	0.99551	0.7599	91.3	12.45	3.63	24.43	40.51	30.78	2.63	0.65	5.99	9.27	7.04	3.34	2.53	53.11	40.36
3年目	H 30	0.99659	0.99306	0.99549	0.7307	91.3	12.41	3.60	24.26	40.27	29.43	2.62	0.64	5.95	9.21	6.73	3.32	2.43	52.81	38.59
4年目	H 31	0.99657	0.99301	0.99547	0.7026	91.3	12.36	3.58	24.09	40.03	28.13	2.61	0.64	5.91	9.16	6.44	3.31	2.32	52.50	36.89
5年目	H 32	0.99656	0.99296	0.99545	0.6756	91.3	12.32	3.55	23.92	39.80	26.88	2.60	0.63	5.87	9.10	6.15	3.29	2.22	52.19	35.26
6年目	H 33	0.99617	0.99572	0.99603	0.6496	91.3	12.27	3.54	23.82	39.63	25.74	2.59	0.63	5.84	9.07	5.89	3.28	2.13	51.98	33.76
7年目	H 34	0.99615	0.99570	0.99602	0.6246	91.3	12.23	3.52	23.72	39.47	24.65	2.58	0.63	5.82	9.03	5.64	3.26	2.04	51.76	32.33
8年目	H 35	0.99614	0.99569	0.99600	0.6006	91.3	12.18	3.51	23.62	39.30	23.60	2.57	0.62	5.79	8.99	5.40	3.25	1.95	51.54	30.96
9年目	H 36	0.99613	0.99567	0.99598	0.5775	91.3	12.13	3.49	23.52	39.14	22.60	2.56	0.62	5.77	8.95	5.17	3.24	1.87	51.33	29.64
10年目	H 37	0.99611	0.99565	0.99597	0.5553	91.3	12.09	3.47	23.41	38.97	21.64	2.55	0.62	5.74	8.92	4.95	3.23	1.79	51.11	28.38
11年目	H 38	0.99609	0.99563	0.99595	0.5339	91.3	12.04	3.46	23.31	38.81	20.72	2.54	0.62	5.72	8.88	4.74	3.21	1.72	50.90	27.18
12年目	H 39	0.99608	0.99561	0.99593	0.5134	91.3	11.99	3.44	23.21	38.64	19.84	2.53	0.61	5.69	8.84	4.54	3.20	1.64	50.68	26.02
13年目	H 40	0.99606	0.99559	0.99592	0.4936	91.3	11.94	3.43	23.11	38.48	18.99	2.52	0.61	5.67	8.80	4.35	3.19	1.57	50.47	24.91
14年目	H 41	0.99605	0.99557	0.99590	0.4746	91.3	11.90	3.41	23.00	38.31	18.19	2.51	0.61	5.64	8.76	4.16	3.17	1.51	50.25	23.85
15年目	H 42	0.99603	0.99555	0.99588	0.4564	91.3	11.85	3.40	22.90	38.15	17.41	2.50	0.60	5.62	8.73	3.98	3.16	1.44	50.04	22.84
16年目	H 43	0.98990	0.99727	0.99217	0.4388	91.3	11.73	3.39	22.84	37.96	16.66	2.48	0.60	5.60	8.68	3.81	3.14	1.38	49.78	21.84
17年目	H 44	0.98980	0.99727	0.99211	0.4220	91.3	11.61	3.38	22.78	37.77	15.94	2.45	0.60	5.59	8.64	3.65	3.11	1.31	49.52	20.89
18年目	H 45	0.98969	0.99726	0.99205	0.4057	91.3	11.49	3.37	22.71	37.57	15.25	2.43	0.60	5.57	8.60	3.49	3.09	1.25	49.26	19.99
19年目	H 46	0.98958	0.99725	0.99198	0.3901	91.3	11.37	3.36	22.65	37.38	14.58	2.40	0.60	5.56	8.56	3.34	3.06	1.19	49.00	19.12
20年目	H 47	0.98948	0.99724	0.99192	0.3751	91.3	11.25	3.35	22.59	37.19	13.95	2.38	0.60	5.54	8.52	3.19	3.04	1.14	48.74	18.28
21年目	H 48	0.98936	0.99724	0.99185	0.3607	91.3	11.13	3.34	22.53	37.00	13.35	2.35	0.60	5.53	8.47	3.06	3.01	1.09	48.49	17.49
22年目	H 49	0.98925	0.99723	0.99178	0.3468	91.3	11.01	3.33	22.46	36.81	12.77	2.33	0.59	5.51	8.43	2.92	2.99	1.04	48.23	16.73
23年目	H 50	0.98913	0.99722	0.99172	0.3335	91.3	10.89	3.32	22.40	36.62	12.21	2.30	0.59	5.49	8.39	2.80	2.96	0.99	47.97	16.00
24年目	H 51	0.98901	0.99721	0.99165	0.3207	91.3	10.77	3.32	22.34	36.43	11.68	2.28	0.59	5.48	8.35	2.68	2.94	0.94	47.71	15.30
25年目	H 52	0.98889	0.99721	0.99158	0.3083	91.3	10.65	3.31	22.28	36.24	11.17	2.25	0.59	5.46	8.30	2.56	2.91	0.90	47.45	14.63
26年目	H 53	0.98877	0.99720	0.99150	0.2965	91.3	10.53	3.30	22.21	36.04	10.69	2.23	0.59	5.45	8.26	2.45	2.89	0.86	47.19	13.99
27年目	H 54	0.98864	0.99719	0.99143	0.2851	91.3	10.41	3.29	22.15	35.85	10.22	2.20	0.59	5.43	8.22	2.34	2.86	0.82	46.94	13.38
28年目	H 55	0.98851	0.99718	0.99136	0.2741	91.3	10.29	3.28	22.09	35.66	9.77	2.18	0.58	5.42	8.18	2.24	2.84	0.78	46.68	12.79
29年目	H 56	0.98837	0.99717	0.99128	0.2636	91.3	10.17	3.27	22.03	35.47	9.35	2.15	0.58	5.40	8.14	2.14	2.81	0.74	46.42	12.23
30年目	H 57	0.98824	0.99717	0.99121	0.2534	91.3	10.05	3.26	21.96	35.28	8.94	2.13	0.58	5.39	8.09	2.05	2.79	0.71	46.16	11.70
31年目	H 58	0.98810	0.99716	0.99113	0.2437	91.3	9.93	3.25	21.90	35.09	8.55	2.10	0.58	5.37	8.05	1.96	2.76	0.67	45.90	11.18
32年目	H 59	0.98795	0.99715	0.99105	0.2343	91.3	9.81	3.24	21.84	34.90	8.18	2.07	0.58	5.36	8.01	1.88	2.74	0.64	45.64	10.69
33年目	H 60	0.98781	0.99714	0.99097	0.2253	91.3	9.69	3.23	21.78	34.70	7.82	2.05	0.58	5.34	7.97	1.79	2.71	0.61	45.39	10.22
34年目	H 61	0.98766	0.99713	0.99088	0.2166	91.3	9.58	3.22	21.71	34.51	7.48	2.02	0.57	5.33	7.92	1.72	2.69	0.58	45.13	9.78
35年目	H 62	0.98750	0.99713	0.99080	0.2083	91.3	9.46	3.21	21.65	34.32	7.15	2.00	0.57	5.31	7.88	1.64	2.67	0.56	44.87	9.35
36年目	H 63	0.98735	0.99712	0.99072	0.2003	91.3	9.34	3.20	21.59	34.13	6.84	1.97	0.57	5.30	7.84	1.57	2.64	0.53	44.61	8.93
37年目	H 64	0.98718	0.99711	0.99063	0.1926	91.3	9.22	3.20	21.53	33.94	6.54	1.95	0.57	5.28	7.80	1.50	2.62	0.50	44.35	8.54
38年目	H 65	0.98702	0.99710	0.99054	0.1852	91.3	9.10	3.19	21.47	33.75	6.25	1.92	0.57	5.26	7.76	1.44	2.59	0.48	44.09	8.16
39年目	H 66	0.98685	0.99709	0.99045	0.1780	91.3	8.98	3.18	21.40	33.56	5.97	1.90	0.57	5.25	7.71	1.37	2.57	0.46	43.84	7.80
40年目	H 67	0.98667	0.99708	0.99036	0.1712	91.3	8.86	3.17	21.34	33.37	5.71	1.87	0.56	5.23	7.67	1.31	2.54	0.44	43.58	7.46
41年目	H 68	0.98649	0.99708	0.99026	0.1646	91.3	8.74	3.16	21.28	33.17	5.46	1.85	0.56	5.22	7.63	1.26	2.52	0.41	43.32	7.13
42年目	H 69	0.98631	0.99707	0.99017	0.1583	91.3	8.62	3.15	21.22	32.98	5.22	1.82	0.56	5.20	7.59	1.20	2.49	0.39	43.06	6.82
43年目	H 70	0.98612	0.99706	0.99007	0.1522	91.3	8.50	3.14	21.15	32.79	4.99	1.80	0.56	5.19	7.54	1.15	2.47	0.38	42.80	6.51
44年目	H 71	0.98592	0.99705	0.98997	0.1463	91.3	8.38	3.13	21.09	32.60	4.77	1.77	0.56	5.17	7.50	1.10	2.44	0.36	42.54	6.23
45年目	H 72	0.98572	0.99704	0.98987	0.1407	91.3	8.26	3.12	21.03	32.41	4.56	1.75	0.56	5.16	7.46	1.05	2.42	0.34	42.29	5.95
46年目	H 73	0.98551	0.99703	0.98977	0.1353	91.3	8.14	3.11	20.97	32.22	4.36	1.72	0.55	5.14	7.42	1.00	2.39	0.32	42.03	5.69
47年目	H 74	0.98530	0.99702	0.98966	0.1301	91.3	8.02	3.10	20.90	32.03	4.17	1.70	0.55	5.13	7.37	0.96	2.37	0.31	41.77	5.43
48年目	H 75	0.98508	0.99701	0.98955	0.1251	91.3	7.90	3.09	20.84	31.83	3.98	1.67	0.55	5.11	7.33	0.92	2.34	0.29	41.51	5.19
49年目	H 76	0.98485	0.99700	0.98944	0.1203	91.3	7.78	3.08	20.78	31.64	3.81	1.64	0.55	5.10	7.29	0.88	2.32	0.28	41.25	4.96
合 計							526.84	166.41	1,121.20	1,814.45	692.80	111.38	29.62	275.00	416.00	158.68	144.88	56.26	2,375.32	907.74

一般国道9号 仁摩・温泉津道路
〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第43号
国中整港計第28号
平成22年11月17日

島根県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年12月9日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年12月1日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	継続	

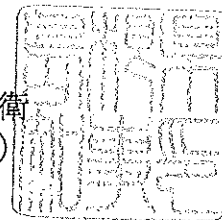
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針（原案）を作成するためのものです。

高 推 第 2 8 号

平成22年11月30日

中国地方整備局長 様

島根県知事 溝口 善兵衛
(土木部高速道路推進課)

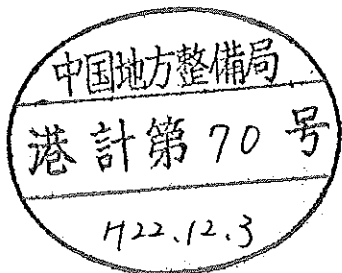


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成22年11月17日付け国中整企画第43号、国中整港計第28号で意見照会
のあった下記事業について、継続するとの対応方針(原案)については、別紙のとおり
異存ありません。

記

・一般国道9号仁摩・温泉津道路



(担当)

高速道路推進課 舟津

電話 0852-22-6134

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)案に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道9号仁摩・温泉津道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
(意見) 仁摩温泉津道路は、世界遺産石見銀山遺跡を活用した観光振興、国際標準コンテナ車通行支障区間の解消による物流効率化の支援を始め、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援等、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。 また、隣接する温泉津江津間についても、事業化の前提となる都市計画決定手続きの早期実施、新規事業着手について特段の配慮をお願いする。 その他の山陰道の各区间についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。	